

# JAMSTEC 航海・潜航データ探索システム（略称 DARWIN）構築に

## よる、利便性向上への試み

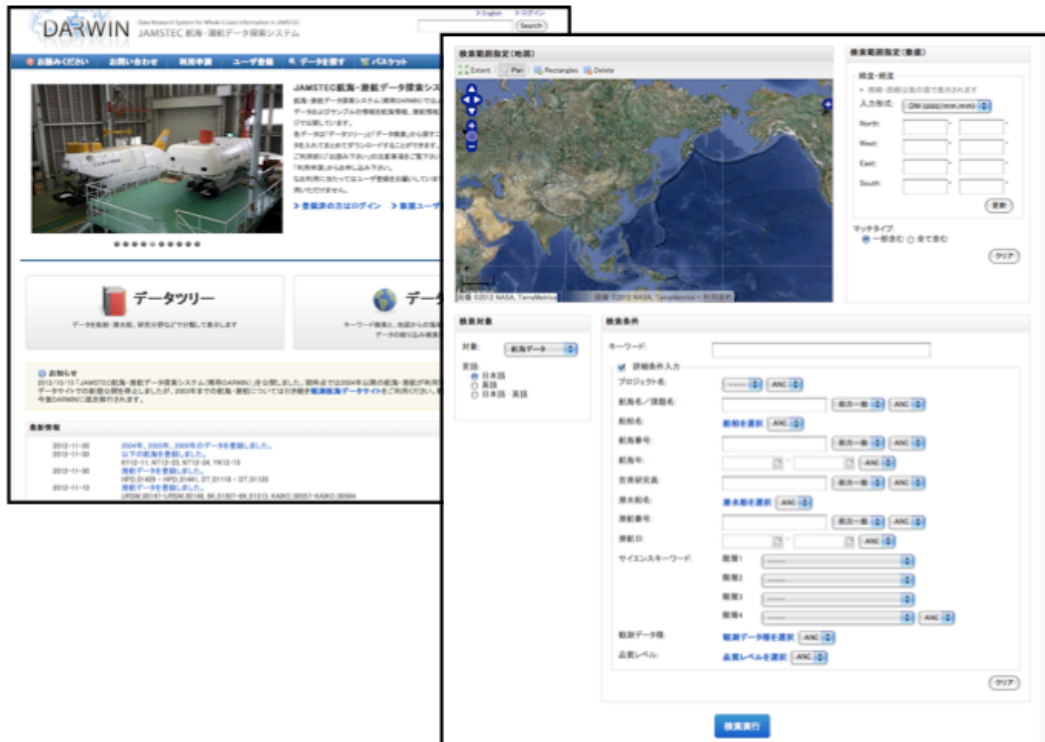
○佐藤 孝子・市山 祐司・長谷 英昭・福田 和代・齋藤 秀亮・華房 康憲・園田 朗・  
坪井 誠司  
(海洋研究開発機構)

JAMSTEC では、これまで多年度、多分野にわたり、船舶や潜水船などの施設・設備を利用した研究活動を行ってきた。これらの研究活動からは、幅広い分野の観測、分析、画像データや岩石、コア、生物サンプルなどが取得され、これらを括るクルーズレポートなどのメタ情報など、多岐にわたる情報が蓄積される。JAMSTEC は、これらを貴重な国民の財産と考え、航海情報公開サイトに適切に取りまとめ、他の研究者やアウトリーチ活動などを対象に、第三者へのデータ、サンプル 2 次利用を促進し、有効活用することを目指してきた。地球情報研究センター (DrC) 部署では、「なつしま」「かいよう」「よこすか」「みらい」「かいいい」の航海によるデータ・サンプルの管理、そして「ちきゅう」の JAMSTEC 独自航海を含めた公開業務を担っている。2008 年度からは、JAMSTEC のデータ公開ポリシーに基づき、データ・サンプル取り扱いに関する規程類を適用して公開を進めている。

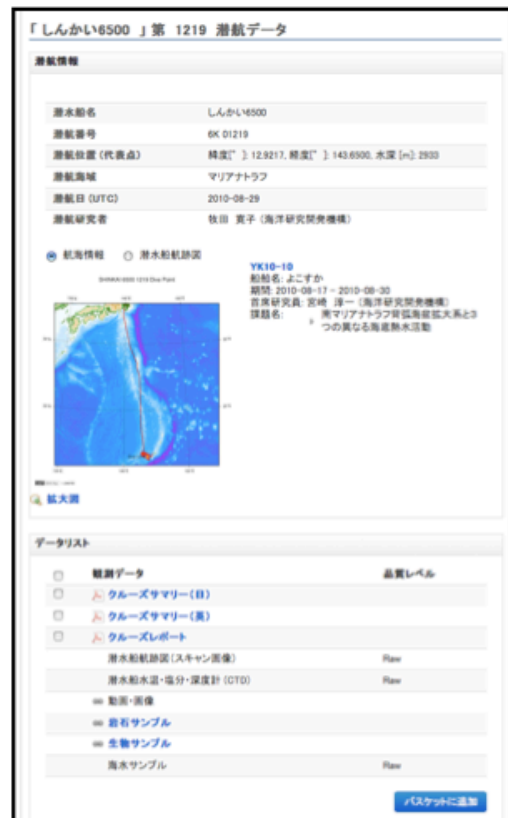
これまでは、上記 6 船とそこに搭載して運用した潜水船・探査機から取得された、さまざまな観測データ、サンプルのメタ情報や、航海・潜航に関する情報は「JAMSTEC 観測航海データサイト」に集約して公開してきた。2008 年度からのポリシー運用、データ・サンプル一括管理、公開に伴い、データ量が飛躍的に増大し、データ管理の自動化や、公開サイトの検索機能の向上が求められてきた。そこで、「船舶観測メタデータ管理システム (CMO)」でメタデータを一括管理するシステムを構築し、種々のデータベースとの情報の連携を図り、データ管理の自動化、効率化に寄与している。さらに、「JAMSTEC 観測航海データサイト」をデータベース化した「JAMSTEC 航海・潜航データ探索システム」(Data Research System for Whole Cruise Information in JAMSTEC : DARWIN) を構築、2012 年 10 月より公開し、ユーザーの利便性向上を図った。特徴としては、1) 船舶・潜水船名や航海・潜航時期、潜航水深、サイエンスキーワードによる ツリー分類から航海・潜航および取得された観測データの絞り込みが可能、2) マップ上でのエリア検索からも観測データの絞り込みが可能、3) ユーザー登録の上バスケット機能を利用することにより、必要な観測データを一度にダウンロードすることが可能、などが挙げられる。DrC では、これからもさらに、過去に遡ったデータの公開や、限られた予算や機会による潜航、航海で取得された貴重なデータやサンプルを有効活用するため、利用者の目線に立って新たなシステム構築を目指している。

これらに関連する取り組みの詳細については、DrC として数件のポスター発表を行う予定であるので参照されたい。また、利用者の要望を効果的に取り組むための「アンケート調査」を今回も予定しているため、是非ともご協力をお願いしたい。

JAMSTEC 航海・潜航データ探索システム(DARWIN)の URL : <http://www.godac.jamstec.go.jp/darwin/j>



航海データ公開サイト DARWIN のトップページと詳細検索ページ例



「みらい」航海ページ例と「しんかい6500」潜航ページ例